JAC創立１００周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2)記載者氏名:	新妻　徹	会員番号:	5868	事務局整理記入欄		北海道－119
分水嶺区分:	H172静狩峠～H173道央道付近～東栄静狩町界			(3)山行日:	2005年	3月	6日	(4)天候: 晴れ　積雪　m

(5) 参加者氏名および会員番号

				サポート要員氏名および会員番号			
新妻　徹	5868			藤内　英夫	11883		
侍園　毅	12898						
		計	2名			計	1名

(6) 山行記録・位置確認 (出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して) ・所要時間・道の状況

ｺｰｽ概略:	静狩峠ー２２６台地ー東栄静狩町界 (黒松内町・長万部町界)												
ｱﾌﾟﾛｰﾁ:	札幌ーＲ２３０ー中山峠ー豊浦ー静狩トンネルーホロナイ静狩線 (往復)												
地点ｺｰﾄﾞ	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	静狩トンネル	静狩	140	28	26.2	42	36	12.2	124		11:10		
分水嶺到達点 H172	静狩峠	静狩	140	28	32.3	42	36	9.2	210	12:00	12:10	B-4	
	226台地	静狩	140	26	49.8	42	36	27.7	228	14:00	14:10	B-4	9
H173	道央道付近	静狩											
分水嶺離別点	東栄静狩町界	静狩	140	25	27.8	42	36	11.9	134	16:00		B-4	
歩行終了点													
										総歩行時間 (休憩時間を除く) :			4時間30分

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点ｺｰﾄﾞを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

静狩川の源頭に2本の送電線が南西から北東方向へ設置されている。

(9) 水および植生に関連した特記事項

トド松の植林が白樺林と中央分水嶺で分離しており、226台地から西方の展望可能。

(10) その他の特記事項

R230から静狩川沿いに北西へ続く「ホロナイ静狩線」は、道央自動車道の下を通り、2本の南西から北東へ設置されている送電線との中間地点に黒松内町と長万部町の町界線があった。この町界に藤内氏が出迎車サポートして下さり、晴天に恵まれスノーシューは快適であった。

(11) 写真の添付: (有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: